



花き特集号

- ◎スプレーマム平成27年度作の品種展示結果
- ◎輪ギク2月開花における炭酸ガス施用効果の確認
- ◎新しい物日作りの取り組みについて
～フラワーバレンタイン～

◎はじめに

愛知県は花き生産量が日本一で、その中でもキクは平成26年の作付面積が1,279ha(全国の25.5%)、出荷量は4,600万本(全国の29.2%)という大産地です(農林水産省 平成26年産花き生産出荷統計より)。しかし、資材費の高騰や不安定な燃料価格、冠婚葬祭の簡素化によるキク需要の低迷、安価な輸入ギクの増加、と課題は山積んでいます。そのような状況のなかで、生産者の所得向上を目指し、優れた特性を持つ品種の育成や単収を上げる栽培技術の開発が日々各研究機関などで行われています。

今号は、営農支援センターで実施したスプレーマム品種展示結果とキクの炭酸ガス施用結果、花の需要拡大に向けた取り組みについて紹介します。

スプレーマム平成27年度作の品種展示結果

営農支援センターでは、5月、9月、1月の年3作型でスプレーマムの品種展示を実施しています。開花時期には、愛知県花き連スプレーマム部会代表者等による専門会議を開催し、栽培ほ場を見ながら品種の評価を行っています。平成27年5月、9月、平成28年1月に行った場内展示の結果と上位品種を紹介します。

1. 展示概要

(1) 展示ほ場：ガラス室（162㎡）

(2) 展示内容

表1 平成27年度3作型の展示品種・栽培概要等

作型	品種数	定植 ^{※1}	消灯	専門会議	供試品種の提供元:品種数
5月開花	85	3月12日	4月9日	5月28日	愛知県農業総合試験場:6 イノチオ精興園(株):20 ジャパンアグリバイオ(株):14 晃花園:9 (株)デリフロールジャパン:22 全農:14
9月開花	68	7月2日	7月30日	9月24日	愛知県農業総合試験場:7 イノチオ精興園(株):20 ジャパンアグリバイオ(株):6 晃花園:21 全農:14
1月開花	100	11月5日	12月3日	1月28日	愛知県農業総合試験場:6 イノチオ精興園(株):21 ジャパンアグリバイオ(株):22 晃花園:12 (株)デリフロールジャパン:22 全農:17

※1 ベッド幅90cm 株間11cm×条間11cm 6条植え(7目ネットで中央1目空け)、発根苗定植
電照は蛍光灯(SuperAgriLamp 23W)により21:30~2:30点灯



写真1 5月開花専門会議での評価風景



写真2 1月開花専門会議での評価風景

2. 5月開花作型の展示結果

(1) 日長管理:消灯から開花まで11時間日長(暗期:18:00~7:00)

(2) 温度管理:換気温度24℃

最低夜温 定植から消灯1週間まで12℃、その後4月27日まで14℃、以後、自然夜温

(3) 施肥

表2 施肥量 (kg/10a)

肥料名	成分 N-P-K	全量	基肥	
			3月10日	追肥① 4月10日
花美咲2号	6-2-2	90	90	
花美咲3号	6-2-2	86		86

N:10.6 P:3.5 K:3.5
前作終了後、堆肥3t/10a施用

(4) 到花日数

表3 到花日数別品種数

到花日数	～49日	～54日	未開花 ^{※2}
品種数 ^{※3}	71	22	5

到花日数:消灯から開花までの日数
開花調査期間:消灯後54日目まで

※2 切り前に達しなかったもの

※3 仕立方法別に調査しているため、品種数の合計が表1と一致しない。

(5) 評価上位品種

表4 上位に評価された品種の特徴と特性

品種	花色	花型	草丈(cm)		到花日数 (日)	提供元
			消灯時	開花時		
あいむルーラ	ピンク	シングル	37	124	45	愛知県農業総合試験場
シルビア	淡ピンク	シングル	37	123	47	(株)デリフロールジャパン
セイヒラリー	白	シングル	37	130	48	イノチオ精興園(株)
11SF21-6	黄	シングル	35	110	47	愛知県農業総合試験場
11SF13-7	白	シングル	32	116	45	愛知県農業総合試験場
マティス	白・ピンク	ポンポン	27	105	47	(株)デリフロールジャパン
オリサバ	ピンク	ポンポン	29	95	47	(株)デリフロールジャパン
ドリア	ピンク	ポンポン	30	110	46	ジャパンアグリバイオ(株)
DB47319	赤	ポンポン	26	110	47	(株)デリフロールジャパン
マカロン	ピンク	デコラ	42	128	46	ジャパンアグリバイオ(株)



写真3 あいむルーラ



写真4 シルビア



写真5 セイヒラリー



写真6 11SF21-6



写真7 11SF13-7



写真8 マティス



写真9 オリサバ



写真10 ドリア



写真11 DB47319



写真12 マカロン

(6) まとめ

消灯後7週以内に開花した品種は71品種で、全体の72%を占めた。開花時の草丈は85～143cmで、110cm以上が73品種、100cm以下は13品種であった。

3. 9月開花作型の展示結果

(1)日長管理:消灯から開花まで12時間日長(暗期:18:00～6:00)

(2)温度管理:換気温度25℃、夜間シェード開放

(3)施肥

表5 施肥量 (kg/10a)

肥料名	成分 N-P-K	全量	基肥	追肥①	追肥②
			6月29日	7月30日	8月31日
花美咲2号	6-2-2	123	123		
花美咲3号	6-2-2	150.8		86	64.8

N:16.4 P:5.5 K:5.5

(4)到花日数

表6 到花日数別品種数

到花日数	～49日	～56日	～60日	未開花 ^{※2}
品種数 ^{※3}	8	38	14	15

開花調査期間:消灯後60日目まで

※2 切り前に達しなかったもの

※3 仕立方法別に調査しているため、品種数の合計が表1と一致しない。

(5)評価上位品種

表7 上位に評価された品種の特徴と特性

品種	花色	花型	草丈(cm)		到花日数 (日)	提供元
			消灯時	開花時		
セイリムー	黄	シングル	38	97	51	イノチオ精興園(株)
セイアドリア	黄	シングル	37	99	52	イノチオ精興園(株)
セイリポル	ピンク	シングル	38	105	56	イノチオ精興園(株)
セイイズミル	黄	シングル	38	95	44	イノチオ精興園(株)
セイリポルパールオレンジ	橙	シングル	34	90	56	イノチオ精興園(株)
セイリポルホットピンク	ピンク	シングル	35	98	56	イノチオ精興園(株)
セイマニサ	白	シングル	32	95	53	イノチオ精興園(株)



写真13 セイリムー



写真14 セイアドリア



写真15 セイリポル



写真16 セイイズミル



写真17 セイリポルパールオレンジ

(6)まとめ

消灯後8週以内に開花した品種は46品種、60日を過ぎても切り前に達しなかった品種は15品種あった。切り前に達しなかった品種のほとんどは秋系品種であった。開花時の草丈は72～135cmで、110cm以上が19品種、100cm未満は37品種であった。



写真18 セイリポルホットピンク



写真19 セイマニサ

4. 1月開花作型の展示結果

(1)日長管理:消灯から12月24日まで早朝電照2時間(5:00～7:00)、以後、自然日長

(2)温度管理:換気温度 定植から1月2日まで25℃、以後23℃

最低夜温 定植から11月25日まで12℃、11月26日から12月2日まで14℃、12月3日から12月23日まで16℃、以後14℃

(3) 肥 肥

表8 施肥量 (kg/10a)

肥料名	成分 N-P-K	全量	基肥	追肥①	追肥②
			11月4日	11月26日	12月16日
花美咲2号	6-2-2	120	120		
花美咲3号	6-2-2	172		86	86

N:17.5 P:5.8 K:5.8

(4)到花日数

表9 到花日数別品種数

到花日数	～49日	～56日	未開花 ^{※2}
品種数 ^{※3}	50	56	6

開花調査期間:消灯後56日目まで

※2 切り前に達しなかったもの

※3 仕立方法別に調査しているため、品種数の合計が表1と一致しない。

(5)評価上位品種

表10 上位に評価された品種の特徴と特性

品種	花色	花型	草丈(cm)		到花日数 (日)	提供元
			消灯時	開花時		
セイヒラリー	白	シングル	33	121	53	イノチオ精興園(株)
セイプリンス	白	シングル	28	95	54	イノチオ精興園(株)
サルデナ	淡緑	デコラ	33	100	51	(株)デリフロールジャパン
イネッサ	黄	シングル	47	137	50	ジャパンアグリバイオ(株)
セイヨーク	ピンク	シングル	41	130	51	イノチオ精興園(株)
DB45700(S)	白・緑	ポンポン	27	105	53	(株)デリフロールジャパン



写真20 セイヒラリー

写真21 セイプリンス

写真22 サルデナ

写真23 イネッサ

写真24 セイヨーク

写真25 DB45700(S)

(6)まとめ

消灯後7週以内に50品種、以後、8週までに56品種が開花した。開花時の草丈は65～150cmで、110cm以上が72品種、100cm未満は21品種であった。

輪ギク2月開花における炭酸ガス施用効果の確認

JAあいち経済連 営農支援センター 夏目 和馬

はじめに

輪ギクは電照による花芽分化の抑制や、シェードカーテンによる日長管理などの栽培技術により、周年栽培が行われています。しかし、厳寒期に出荷する作型では、切り花のボリュームが低下し、収益が上がらないため、経営上の大きな問題となっています。ボリューム不足を解決するためには、光合成の促進や地下部の充実が必要だと考えられます。そこで、平成26年度作では、光合成を促進させるために「精興の誠」、「早生神馬」に炭酸ガスを施用し、生育・収穫時期への影響などについて調査しました。以下に展示概要と結果を紹介します。

1. 栽培概要

- (1) 展示区分 : 1) 無施用区 ガラス室(162㎡)
2) 炭酸ガス施用区 クリントートハウス(162㎡)
- (2) 供試品種 : 「精興の誠」、「早生神馬」
- (3) 耕種概要 : 挿し穂 10月23日
定植 11月6日(11cm7目ネット、中央1目空け、6条植え、125本/坪)
点灯 11月6日～{暗期中断5時間(21:30～2:30)}
炭酸ガス施用 11月24日～翌年2月8日{(7)稼働条件参照}
消灯 12月26日
日長管理 12月27日～翌年1月14日{早朝電照1時間30分(5:30～7:00)}
開花 2月8日～(2月23日まで調査)
- (4) 調査項目 : 1) 開花調査 草丈、葉数、重量、階級発生率、柳葉数、茎径、花首長、水上げ
2) 室内環境 温度、湿度、炭酸ガス濃度
- (5) 施肥 (kg/10a)

肥料名	成分 N-P-K	全量	基肥	追肥①	追肥②
			11月4日	12月16日	1月21日
花美咲1号	6-5-5	150	150		
花美咲3号	6-2-2	150		85	65

N:18.0 P:10.5 K:10.5

- (6) 温度設定 : 1) 換気温度25℃、2) 最低温度14℃(12/26～1/19まで16℃)
- (7) 炭酸ガス発生装置※稼働条件:

設定温度	炭酸ガス設定温度	
	6:30～12:00	12:00～15:30
24℃以下	600ppm	550ppm
24～29℃	380ppm	380ppm
29℃以上	なし	なし

※光合成促進機:プロパンガス燃焼式、CO₂当盤により制御

2. 展示結果

(1) 草丈・葉数

両品種ともに炭酸ガス施用開始の約1か月後から、炭酸ガス施用区の草丈が長く推移した(図1、2)。

開花時の草丈は炭酸ガス施用区が、無施用区と比較して「精興の誠」で約9.4cm、「早生神馬」で約16.6cm伸びた。開花時の葉数は炭酸ガス施用の有無による差はみられず、「精興の誠」は約43.5枚、「早生神馬」は約50.0枚であった。

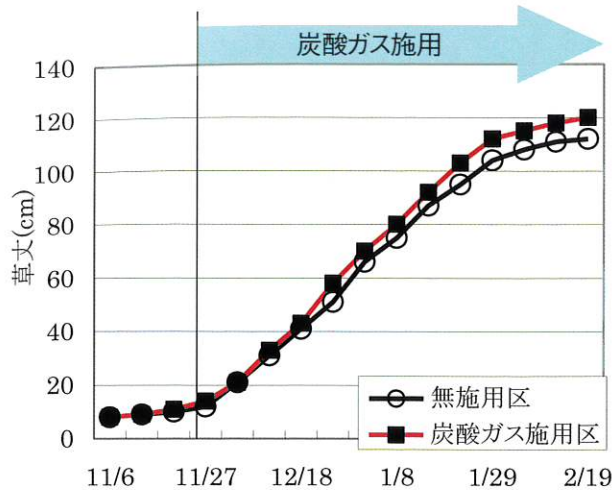


図1 「精興の誠」炭酸ガス施用が草丈に与える影響

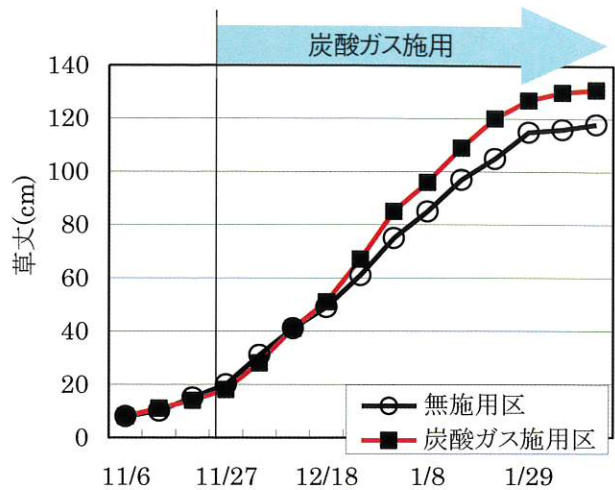


図2 「早生神馬」炭酸ガス施用が草丈に与える影響

(2) 階級発生率

「精興の誠」は炭酸ガス施用によって、階級L・2Lの発生率が18%から33%へ向上し、規格外品の発生がなくなった(図3)。

「早生神馬」は炭酸ガス施用によって、階級3Lが11.7%発生したが、Lの発生率が15%から7%に減少した。また、S以下の発生率も増加した。S以下が増加した要因は、うねの通路側の株が3Lと大きくなったため、内側の光条件が悪くなったことによるものと考えられる。

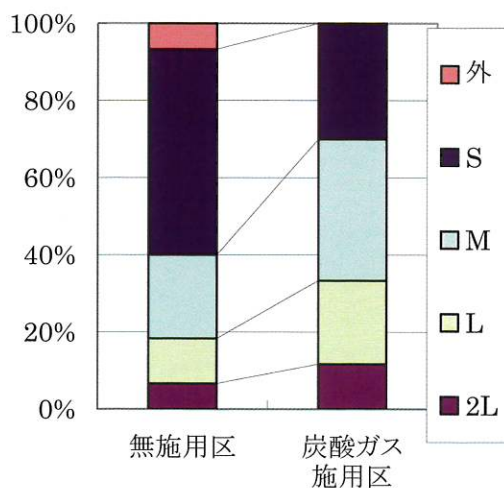


図3 「精興の誠」炭酸ガス施用による階級発生率への影響

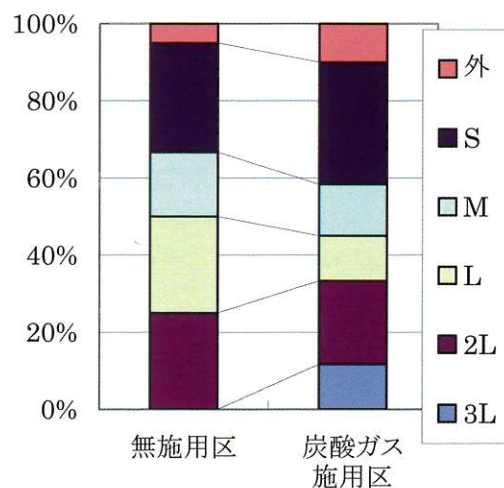


図4 「早生神馬」炭酸ガス施用による階級発生率への影響

(3) 到花日数(消灯から開花までの日数)

到花日数は「精興の誠」の無施用区で52日、炭酸ガス施用区で53日、「早生神馬」の無施用区で48日、炭酸ガス施用区で51日であり、両品種とも炭酸ガスの施用により、開花が1～3日遅くなった。

3. 今後の課題

今作の展示結果を受けて、炭酸ガスの輪ギクへの活用には以下のような課題を検討する必要があると考えられる。

- 炭酸ガスの施用濃度、施用方式について
- 上物率向上のための栽植密度、栽植方法について
- 日中の換気温度、夜間の暖房設定温度について
- 炭酸ガス施用に合わせたかん水量・施肥管理について
- 品種・系統による炭酸ガス施用効果について

新しい物日作りの取り組みについて～フラワーバレンタイン～

JAあいち経済連 花き課

「この1年にお花を買いましたか?」という質問に対して、どれだけの人が「はい」と答えるでしょうか。近年日本国内における花きの需要は縮小傾向にあります。1世帯当たりの切花年間支出金額をみると、平成10年は12,268円でしたが、平成26年には9,707円と約2,600円減少しています(表1参照)。さらに、平成26年の花き(切花・鉢物)国内総産出額は3,437億円ですが、平成10年のピーク時から約1,300億円も減少しています。

こうした状況を打開するには、花き需要の維持・拡大に取り組む必要があります。そこで花き業界が一体となって新しい物日(母の日やお盆、年末など花の需要期のこと)作りとして取り組んでいるのが「フラワーバレンタイン」です。フラワーバレンタインとは2月14日のバレンタインデーに男性から女性へ花を贈る習慣を定着させようと取り組んでいるキャンペーンです。世界において、バレンタインデーは男女が互いに愛や感謝の気持ちを伝え合う日であり、特に欧米では男性から女性へ花を贈ることが最もポピュラーとなっています。日本でも世界の習慣に倣い、バレンタインデーに花贈りの習慣を定着させて花の消費拡大を図ろうと、平成22年より取り組みがスタートしました。

首都圏をはじめ、各地でキャンペーン活動が行われており、愛知県でも県やJAあいち経済連、花き市場組合、小売商業協同組合等が「フラワーバレンタインあいち実行委員会」を立ち上げ、PR活動に取り組んでいます。今年度は大須商店街でのカップルを対象とした花束製作体験や大村知事とアイドルユニットOS☆U(オーエスユー)とのトークセッション、記念撮影会(写真1参照)、久屋大通公園フリエでの花束製作体験やバレンタインデーにちなんだフラワー装飾、飲食店とのタイアップ企画など、県内各地でPRイベントを実施しました。

フラワーバレンタインは今年で6年目となりますが、卸売価格にも反映されてきています。平成26年に(一社)花の国日本協議会が実施したアンケート(※)では、メイン商材となりつつあるバラの価格がバレンタインデー直前に上昇したと答えた卸売会社が23社中19社ありました。また、今年はバラだけではなく他の品目の価格もバレンタインデー直前に上昇傾向となりました。さらに小売店でも売り上げが伸びるなど、徐々にフラワーバレンタインが新しい物日として認知されつつあります。フラワーバレンタインをきっかけに、産地・卸・小売が一丸となって、今後さらに新しい物日作りに取り組んでいく必要があります。

※参考:(一社)花の国日本協議会 「フラワーバレンタイン」活動報告書(2014年)

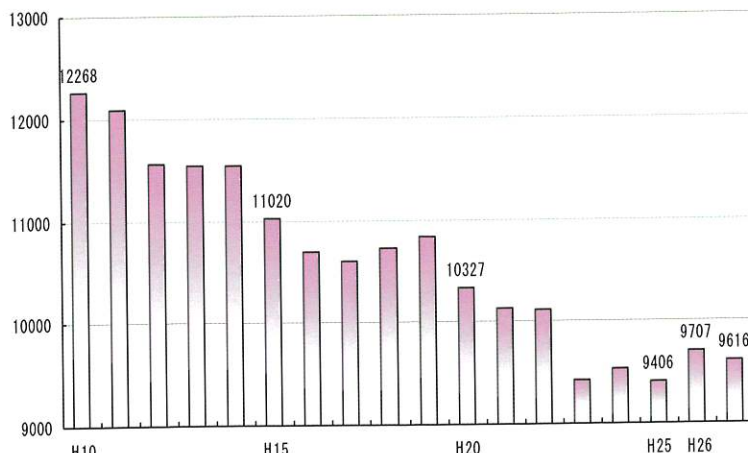


表1 1世帯当たりの切花年間支出金額(単位:円)
(総務省統計局家計調査年報より)



写真1 大須商店街でのイベント風景

「100本のバラの花束をもって記念撮影を行うカップル」フラワーバレンタインだけではなく、平成28年から「3 LOVE STORIES」と題し、愛妻の日(1月31日)、フラワーバレンタイン、ホワイトデーと1～3月を花贈り強化月間とすることで、男性の花贈り文化の定着に花き業界で取り組んでいます。JAあいち経済連も毎月22日は大切なパートナーに花を贈ろうという「パートナーズデー」を提唱しており、花きの消費拡大に取り組んでいます。

【訂正】

No.178の8ページ3行目は正しくは「章姫」約24%増収、「紅ほっぺ」約31%増収、「とちおとめ」約10%増収」です。訂正してお詫びいたします。



No.179 定価/143円(消費税抜き) 発行/平成28年3月 ●営農支援センターは(公財)愛知県農業振興基金の助成を得て運営しております。
発行所/ JAあいち経済連 営農支援センター 〒441-3302 豊橋市杉山町字新々田115番地 電話(0532)23-3411 FAX(0532)23-3410
JAあいち経済連ホームページアドレス <http://www.ja-aichi.or.jp/> ●掲載記事の無断転載を禁止します。